

世界にひとつだけ

# タケノコ和紙の卒業証書



タケノコの皮を集めて乾燥させます



ぐつぐつ煮込みます



川の水にさらして漂白します



繊維を細かくして水に溶かし、いよいよ和紙に

越山小学校では、平成6年度から特別な卒業証書を作っていました。それは、田代岳で育ったタケノコの皮を使った和紙の卒業証書です。

越山小学校の卒業生で、今もグラウンド隣にアトリエを構えている松田芳雄さん(彫刻家)の発案によるもので、和紙づくりは子供たち自身が取り組んできました。タケノコは、田代岳山麓さんろくのこの土地そのものと言える存在。材料は無尽蔵なほどいくらでもあります。

**感謝の心を胸に  
新たな一歩を踏み出そう**

自然豊かな環境で、のびのび育った子供たち。小さな学校の利点を味方に、これまで精いっぱい自分の可能性に挑戦し、頑張ってきました。

地域の皆さんに愛されてきたみんなは、とても幸せです。純真で真つすくな心と、しなやかな身体を育んでくれたこの校舎と地域に感謝しながら、新たな希望の一歩を踏み出してください。子供たちの未来が一層輝き、確かな歩みを進めていくことを祈っています。

校長 花田 千明

タケノコの皮をたたいたりミキサーで細かくしたりしてから水に溶かし込み、和紙の製法と同じように漉きます。出来上がったタケノコ和紙を見ると、地域の方々の温かさを感ずるような味わい深さがあります。

このスペシャルな卒業証書をもたらるのは、世界で越山小学校の卒業生だけ。みんな地域の誇りを胸に巣立っていきます。

5年生以下の在校生は、山瀬小学校に移籍するので、今年は特別に「在籍記念証」を発行することになりました。

